

「秋来ぬと」

西をさむ

夏はほら夏目雅子の野球帽

山本 賜

野球帽といえば夏の甲子園球場で毎年開催される全国高等学校の野球大会でしょう。残念ですが、今年は新型コロナの影響を受けて中止となりました。子規さんもあの世からさぞかし悔しがっている事でしょう。幼少の頃、升（のぼる）と呼ばれていたのも、流行しだしたベースボールを野原で遊ぶ毬遊びと自分の幼年期の名前に掛けて、ノボール＝野球と名付けたそうです。本当かなあ？ でも夏目雅子さんの可愛らしくて清々しい笑顔は今でも浮んで来ます。

それから東京オリンピック、パラリンピックも来年開催と延期になりました。こちらもひょっとして中止されるかもしれません。今までにオリンピックが中止された時があったのを皆さんはご存知でしょうか。コロナ対策ではありません。戦争です。それも二回に亘る世界大戦の時です。僅か三十年間ほどの短い間にです。この二つの大戦を収束に向かわせたのは一体誰だったのでしょうか。為政者でしょうか、はたまた大帝でしょうか。いいえ、どちらでも有りません。第一次世界大戦、第二次世界大戦の末期、戦争チフスとマラリアが主導権を握りました。もし、これらの疫病が出現しなかったなら、人類は滅んでいたかもしれません。

けさ秋や瘧の落ちたやうな空

一茶

瘧（おこり）は、今で言うマラリアの様な病と考えて良いでしょう。病気が治って、心身共にすっきりし、澄み亘った秋の空に譬えて詠んでいるのでしょう。争い事が鎮まってこんなに素晴らしい日々は無いと言っている様な句とも取れません。だいぶ時代は遡りますけれども。

終戦日平和のために戦争す

稲沢進一

これはまた真逆の様な句ですね。平和の為の戦争なんてありえません。しかし、わたし達は先の大戦で多くの人と物を失ってしまいました。けれども平和と言う掛替えのない宝物を得ました。其の事を皮肉を込めて詠んでいるのです。

竹槍も展示されをり終戦日

横山喜三郎

この句も深読みをした方が良いでしょう。「B 2 9」に竹槍で立ち向かって勝てる筈がありません。それでも其れが可能だと思い込まされていたのです。現実には竹槍が展示されているのですから。

八月やヒロシマナガサキわれに水 小檜山繁子

ピカドンと呼ばれた原子爆弾が広島と長崎に投下され三十数万の人間の尊い命が奪われてしまいました。片仮名の文字が悲し過ぎます。

敗戦忌燃えてしまった青年ら

北さとり

経済競争は戦争の始まりです。弱者は何時の時代でも貧乏籤を引かされます。虎狼痢（ころり）と逝かぬ様に。

いつまでもいつも八月十五日

綾部仁喜

さて、少し考えさせられる句をひとつ。

ポスターのカタカナばかり終戦日

D J リンズィー